

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2010年4月号 (No. 16)

平井会計事務所 税理士 平井満広
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
 芝浦アイランドエアタワー1704号
 電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
 Mail:m_hirai@hirai-ao.com
 URL:http://www.hirai-ao.com/

年に1度の健康診断！決算書とグラフ化

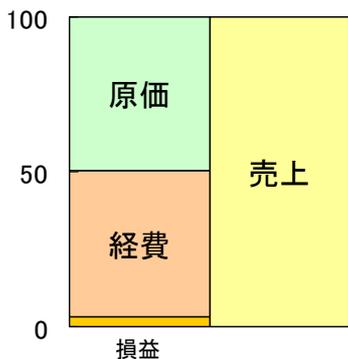
4月から新しい年度がはじまった会社も多いと思います。心機一転、気持ちを入れかえるのも大切ですが、前年を振り返る良い機会でもあります。そこで今回は損益計算書をグラフ化して問題点を考える方法をご紹介します。

(単位:百万円)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
売上	10.5	13.0	8.5	7.5	9.4	8.0	5.2	4.5	10.0	9.2	8.8	5.4	100.0
原価	4.9	6.3	4.2	3.8	4.6	4.1	2.7	2.4	4.6	4.5	4.5	2.9	49.5
経費	4.1	4.7	3.9	3.8	4.1	3.9	3.8	3.4	4.1	3.9	4.2	3.6	47.5
利益	1.5	2.0	0.4	△0.1	0.7	0.0	△1.3	△1.3	1.3	0.8	0.1	△1.1	3.0

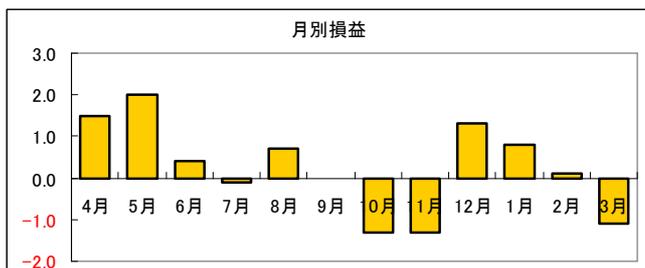
◆損益バランスとグラフ

自社の損益のバランスを知りたいときは損益計算書を次のようなグラフにするのがおススメです。売上に対する原価や経費等の比率をおおまかにつかむことができます。主な原価や経費は科目を独立させるのも一つの方法です。売上が増えても利益が出ないときはグラフを3期分くらい並べると問題点が見えてきます。なお売上を右においたとき損益が左に出れば黒字、右に出れば赤字です。



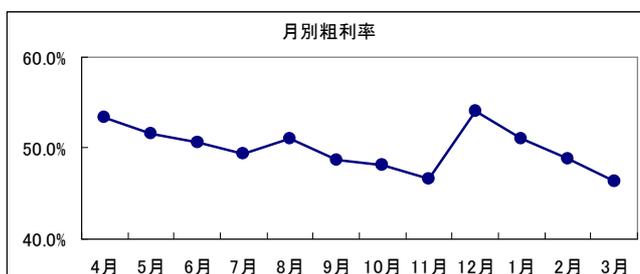
◆月次損益とグラフ

毎月の業績変動が大きい会社は下のように月別グラフを作成します。業績が良かった月(4, 5, 12月)と悪かった月(10, 11, 3月)を分けて原因を考えると問題点を絞り込むことができます。年間利益を増やすためにはどうするかといったテーマも、業績の良い月をもっと伸ばすのか、業績の悪い月を改善するのかといった議論に発展します。



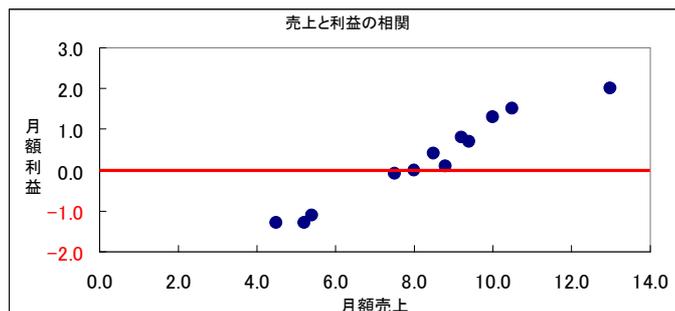
◆粗利率とグラフ

原材料等の価格や商品売価の変動が激しい業種は下図のような折れ線グラフを作成して粗利率の変化を把握することも大切です。3~5年分ぐらいを並べると自社商品の採算効率の傾向(上昇気味 or 下降気味)がつかめます。



◆売上・利益の相関とグラフ

売上と利益の相関を調べたいときは下図のような分布図を作成するのがおススメです。タテを利益、ヨコを売上として各月の売上と利益の該当する箇所を打ちます。このグラフを見ると、黒字を出すのに必要な売上はどれくらいなのか、よくある組み合わせはいくらか、などの傾向がわかります。従来の原価や経費の比率をベースにした利益や売上の目標をたてるときの参考にもなります。



◆その他にもアレンジはたくさん

今回ご紹介した内容は損益計算書だけでなく貸借対照表やキャッシュフロー計算書にも応用できます。また期間の区切りを、週次、日次、と細かくすることで問題点を絞り込むこともできます。さらにグラフにすれば従業員の方たちも会社の状況を理解しやすく、問題点や目標の共有化にもつながります。年に1度、会社の健康診断のつもりで、自社の決算書を分析してはいかがでしょうか。
 ※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/